

中学校統合の成果を問う

学力は劣り、体力(男子)は優る



中倉 毅 議員

平成26年4月、新生大崎中が誕生した。統合前は、町民との議論があり、議会でも少人数では、学力の競争原理が働かないのではないかと、又、部活動が十分に出来ないことと統合が望ましいとの結論に同意した。5年目を迎え、学力はどう変化したか。

学力は県、全国に及ばない

教育長

現在の大崎中学校の学力は、本年4月に実施した全国学力調査によると、国語、社会、数学、理科、英語の5教科の合計は、297点で地区平均を上まわるものの、県や全国平均には及ばない結果になっている。

県平均は、307点でこれを100とすると本校は、96・7となっている。

平成30年4月17日全国学力・学習調査資料

		国語A	国語B	算数/数学A	算数/数学B	理科
中学3年	大崎町平均	74	58	60	42	63
	大隅地区平均	73	56	60	41	62
	鹿児島県平均	75	58	64	45	65
	全国平均	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

※数字は100点満点の正解率

家庭学習の課題は何か

中倉毅議員

本年8月に出された外部評価書によると、学力が向上しない

理由として、家庭学習の習慣の定着が不十分とのことであるがその要因は何か。

家庭での学習時間が少ない

教育長

中学3年生の家庭学習の時間は、今回の学力調査によると3割を超える生徒が1時間未満、又、テレビやスマホを2時間以上見ている生徒が3割以上いることなどが要因と考えられる。

学力向上の対策はあるか

中倉毅議員

家庭における学習は、毎日2時間は自主学習をやるとか、テスト方式で実施するとか、宿題を与えて勉強する意識づけをするなど学校と家庭が連携しその方法を作るべきと思うがどうか。

1日の学習計画を立てさせている

教育長

生徒には、1日の学習計画を立てさせて家庭に帰している。その中に、国語を30分とか、英語を20分とか、又、テスト勉強を計画の中に盛り込み、それを1日の学習計画として実施させている。それを担任がチェックして学力向上に生かしている。

部活の活動は活発か

中倉毅議員

2番目に大きい課題は、部活の活動が活発に行われているかということ。統合して、果して生徒が部活に参加し、楽しい生活をしているか。

部活は、活発に行われている

教育長

現在、部活は野球、サッカー、男女ソフトテニス、陸上、水泳、男女バレー、卓球、剣道、吹奏楽、ボランティアの12部で256人の生徒が加入している。加入率は、83%で統合時の76%より増加しており、活発に活動している。

体力は向上しているか

中倉毅議員

部活加入率は増加しているということだが生徒の体力は向上しているか。

男子は向上しているが女子は劣る

教育長

平成29年度の全国体力運動能力、運動習慣調査によると50メートル走やハンドボール投げなど9種目で県平均を100として、男子は172、女子は90となっている。このことから、特に女子の体力向上に努力していきたい。



学力アップセミナー



熱心に励む部活動